

# 地方自治体のリスクマネジメントの新たな視点 ～不正行為発生メカニズムを踏まえて～

## 研究会の趣旨

本研究会では、自治体における不祥事に関して金銭的な利得が目的であるのかどうかにも触れつつ、不正行為（汚職や不祥事）の発生のメカニズムを自治体等で発生した事例等を基に解明し、新たな視点から個人・組織におけるリスクマネジメントの方策について検討していきます。

詳細は実施要領をご覧ください。

## 開催概要

**01**

### 研究期間

令和6年6月～令和7年3月  
(1か年)

**02**

### 回数

月1回程度

**03**

### 募集定員

10名程度

## 募集締切

令和6年5月17日（金）

## こんな方におすすめ



- 組織リスクマネジメントに興味がある方
- 先進事例などを通じて知識を深めたい方
- 他の自治体職員と意見交換を行い、組織に還元したい方

## 指導助言者

奈良県立大学 地域創造学部

准教授 米岡 秀真 氏

## 【問い合わせ先】

(公財) 大阪府市町村振興協会

おおさか市町村職員研修研究センター (マッセOSAKA) 濱田(はまだ)

TEL: 06-6920-4565

E-mail: hamada-tr@masse.or.jp

# 地方自治体のリスクマネジメントの新たな視点 ～不正行為発生メカニズムを踏まえて～

## 概要

公務員は、「国民全体の奉仕者」であり、公明正大に職務に取り組む使命があるとともに、職務の性質上、厳しい倫理が要求される一方で、近年、全国の自治体に目を向けると少なからず職員による不正行為が発生している現状があります。

公務員による不正行為（特に汚職や不祥事など）は当然にあってはならないものであり、生じた場合、行政は地域住民からの信頼を失い、社会や地域に対して大きな負の影響を与えることとなります。

そのようなことが起こる度に、服務規律の徹底や公務員倫理に関する各種研修など、様々な取り組みが行われ、その機会を活かし、公務員としてのあるべき姿について、教育・啓発が行われている現状ではありますが、果たして不正行為（汚職や不祥事）の発生要因は単に一部の公務員の「個人における資質の欠如」の問題だけなのか。「組織体制」に問題はなかったのか。また、組織として不正行為（汚職や不祥事）発生後、どのような「対策」を講じることが効果的であるのか。

本研究会では、以上のような問題意識を持ち、自治体における不祥事に関して金銭的な利得が目的であるのかどうかにも触れつつ、不正行為（汚職や不祥事）の発生メカニズムを自治体等で発生した事例等を基に解明し、新たな視点から個人・組織におけるリスクマネジメントの方策について検討していきます。

## 指導助言者

奈良県立大学 地域創造学部 准教授 米岡 秀真 氏

横浜市立大学商学部卒業。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程を修了、博士（経済学）を取得。この間、三重県庁に勤務。山口大学専任講師などを経て、現在：奈良県立大学地域創造学部准教授。専門は地方財政、公共政策。

## 研究会の進め方

月に1回程度、マッセOSAKA（大阪府新別館南館5階）研修室にて研究会を実施します。

研究会では、指導助言者やゲストスピーカーによる講義の他、研究員同士の積極的な討論や発表を行います。指導助言者のもと、研究員が主体となって調査・研究を行い、政策提言を目指します。

研究会実施日以外はWebで進捗の報告や情報交換を行います。また、必要に応じて国内視察やアンケート調査等を行うことができます。研究期間終了時には、報告書の発行や成果報告会の実施等により、研究成果を広く大阪府内外へ発信します。

## スケジュール

- ◆第1回：令和6年6月13日（木）14：00～17：00
- ◆第2回：令和6年7月11日（木）14：00～17：00
- ◆第3回以降：未定
- ※ 本研究会は、原則、第2または第3木曜日で実施予定

## 募集締切

5月17日（金）

各市町村担当課を通じてお申込みください。